
特集) 新規学卒者の就職における「ミスマッチ」を解消するための方策
～「四大卒も中小企業を目指せ」論～

■2011年3月新規学卒者の就職内定状況と政府の支援策

厚生労働省・文部科学省の発表に拠れば、2011年3月卒業見込みの大学生等（新規学卒者）の就職内定率は、12月1日段階で、大学卒68.8%（前年比で4.3ポイント低下）、短大卒で45.3%（同2.1ポイント低下）となっており、いずれも統計を取り始めた1996年以降では、最低の水準にあります。特に、性別では大卒の女子が67.4%（前年比で5.8ポイント低下）、文理別では理系が71.3%（同7.3ポイント低下）、地域別では中部地区が61.7%（同8.0ポイント低下）と、状況が厳しくなっています。

こうした中、新規学卒者の厳しい就職環境を改善するために、厚生労働省と文部科学省とが連携して、

- ①全都道府県に「新卒応援ハローワーク」を設置し、求人情報の提供・マッチングからジョブサポーターによる個別支援の実施、
- ②中小企業・中堅企業を中心とした就職面接会の実施、
- ③大学に配置されているキャリアカウンセラーとの連携の強化、
- ④卒業後3年以内の既卒者を採用した事業主への奨励金の対象者を2011年3月卒業予定の内定者にまで拡大、
- ⑤学生のための就職情報サイト（リクナビ・マイナビ）における告知活動の開始など、

就職活動を支援するための施策が矢継ぎ早に実施しています。

■大学新規学卒者も「中小企業を目指せ」

最近、新規学卒者の就職は大きな社会問題となっており、マスコミなどでも盛んに取り上げられています。『中央公論』2011年2月号では、海老原嗣生氏（株式会社ニッチモ代表取締役）による、「四大卒も中小企業を目指せばいい」という論文が掲載されました。この論文では、新規学卒者の就職活動における「ミスマッチ」を解消するための一つの方向性が示されています。

この論文で海老原氏は、近時の新規学卒者の就職難の原因は、「企業が必要とする人数以上に大卒者が増えたこと」および「増えすぎた大卒者が中小企

業の求人とミスマッチを起こしていること」にあると分析し、多くの学生が希望するホワイト・カラー職に就きたいのであれば、大企業ではなく中小企業を目指すべきだと指摘しています。

確かに、2011年3月卒業予定の大学生・大学院生に対する「大卒求人倍率調査」(リクルートワークス研究所)では、学生の民間企業就職希望者が45.6万人であるのに対し、求人数は58.2万人であり、全体の求人倍率は1.28倍となっています。しかし、従業員規模別の求人数・就職希望者数・求人倍率をみれば、従業員1千人以上の「大企業」は、求人が145,300人であるのに対し、求職者数は253,300人ですから、求人倍率は0.57倍に過ぎません(大企業の求人倍率は、「売り手市場」であったとされる2008年3月卒でも0.77倍にとどまっています)。

■「中小企業」の就職先としての魅力

これに対し、従業員1千人未満の「中小・中堅企業」は、求人が436,600人に対し、求職者数は202,400人で、求人倍率が2.16倍になります。求人総数は、従業員1千人未満企業の場合、前年より22.8%(129,000人)減少しており、従業員1千人以上企業よりも減少幅と減少数は大きいのですが、求人数全体では183,300人も上回っています。

海老原氏は、「中小企業のホワイト・カラーに対する需要は満たされていない」から、学生が、そこを目指せば、大卒者の就職難は解消されるとしています。その上で、「中小企業」に対する「誤った常識」を解くことの必要性を、次のように述べています。

すなわち、どの年代でも、中小企業に勤めている人が圧倒的に多いから、「中小企業に勤めるのは普通」だと断じています。確かに、総務省の「労働力調査(基本集計)」では、2010(平成22)年平均の雇用者5410万人のうち、従業員1千人以上の企業で働く雇用者は1083万人(全体の20.0%)です。

また、総務省の2006(平成18)年「事業所・企業統計調査」によれば、日本にある会社ベースの企業のうち、大企業は11,961社(全体の0.8%)に過ぎず、中小企業が1,493,258社(同99.2%)となっています。

したがって、4年制大学への進学者が50%を超えている今日の日本では、就職先の選択として、大企業だけでなく中小企業に目を向けることも、当然、必要になってきます。とくに、大卒の新規学卒者を「定期採用」しよ

うとする企業は、一定程度の従業員数や売上高を有していますし、経営の安定性や企業コンプライアンスの面でも大企業に引けをとらない企業が多いといえます。

■学生が中小企業に目を向けるために必要なこと

そして、就職活動を行っている学生がこうした中小企業に関心を向けるためには、就職情報サイトに掲載されていない地元企業や優良企業の求人情報に接する機会をもつことが重要です。ここでキャリアセンターに求められる機能は、長年にわたって密接な関係にある地元の優良企業の採用情報を数多く収集して学生に伝えること、全国的な規模で企業の採用情報を有するハローワーク（新卒応援ハローワーク）との連携を強化すること、さらに、中小企業への就職を理解してもらえるように、学生や保護者に適切で十分な情報を提供することなどが考えられます。

学生が中小企業について「わからない」、「不安だ」、「心配だ」などという理由で目を向けない結果、就職活動がうまく行かず、大学を留年したり、無業者やフリーターとして不安定就労のまま卒業することは、本人のみならず社会にとっても大きな損失です。こうした事態を防止するためにも、キャリアセンターおよびそこで勤務しておられる職員、キャリア・コンサルタントの方々の時宜を得た活動が喫緊の課題となっています。

了

今回のメールマガジンは、弊社の大学関係のお得意様にも配信させていただきました。ご不要な方は、お手数ですが、メール末尾の配信停止案内に従い、解除登録をお願いいたします。

【お知らせ】大学・短大職員様向けセミナーのご案内

「学生に対するキャリア・コンサルティング・スキル向上セミナー」

日時：3/26(土) 14:30～17:30（開場 14:00）

会場：LEC東京リーガルマインド中野第一研究所

定員：40名

講師：黒澤眞澄（LEC東京リーガルマインド シニアコンサルタント）他
受講料：10,000円

※本メールマガジンが配信された方は受講料が無料です。

お申し込み方法等、詳細はこちら↓

http://partner.lec-jp.com/univ/pdf/20110326_smn.pdf

【プレゼント】大学職員様向けミニ冊子（PDF版）プレゼントのご案内

キャリアセンターや教務部など、学生に携わる職員の方に役立つ記事を記載したミニ冊子をPDFでプレゼントいたします。

今回のメルマガにて、入手方法をご案内いたします。

（次回メルマガ配信予定日：3/23（水）予定）

【お知らせ】サンジャポ（TBS系列）出演中の角田龍平弁護士登場！
無料講演会『エンタメ弁護士が語る弁護士の将来性～』

テレビやラジオでおなじみの「角田龍平」先生は、弁護士とは思えないご経歴の持ち主です。

最初に師事なされたのは、現大阪府知事の橋下徹弁護士。

弁護士としては、一般的な業務のほかにスポーツ分野、エンタメ分野も担当されています。

そんな角田先生に、弁護士を志された理由、弁護士の可能性、面白さについて、ご自身の体験も踏まえてお話しいたします。法曹に興味がおありになる方に限らず、人間「角田龍平」弁護士に興味がある方も、是非ご参加下さい。

日時：2011年3月26日（土）13：30～15：00

会場：渋谷駅前本校

同時中継：横浜本校・梅田駅前本校・札幌本校・仙台本校・静岡本校・名古屋駅前本校・岡山本校・松山本校・福岡本校・那覇本校

講演者プロフィール・渋谷駅前本校のご案内はこちら

http://www.lec-jp.com/shihou/topics/110326_lecture.html

~~~~~  
★LECの最新情報はこちら↓

<http://www.lec-jp.com/>

LECの職業訓練↓

<http://kunren.lec-jp.com/>

LECの企業研修・法人事業部↓

<http://partner.lec-jp.com/>

LECの人材サービス部門・プロキャリア事業部↓

<http://www.lec-procareer.jp/>

=====  
■本メールの配信停止・メールアドレス変更をご希望の方は下記 URL で手続き  
をお願い致します。

[https://regist.lec-jp.com/partner/univ/form\\_del.html](https://regist.lec-jp.com/partner/univ/form_del.html)

=====  
■発行:LEC東京リ・ガルマインド 大学事業課

■Copyright (C) 2011 TOKYO LEGAL MIND K.K., All Rights Reserved. !